

質問事項		選択式回答	記述式回答
<b>経済動向</b>			
1	<p>2015年8月下旬から9月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年5月下旬から6月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのをご参照ください。</p>	悪くなっている	<p>具体的に「悪化」まで確認されるには至っていないと思われ、「悪化の兆し」と言うにとどめたい。4-6月期の実質GDPは、消費、設備投資、輸出いずれも前期比マイナスに転じており、その後中国経済の急減速に端を発した商品の動きや価格面で、また国内では天候不順などによる生鮮品の価格上昇など、景気に対してブレーキとなる要素が目立ち始めている。同7-9月期は反転が見込まれているが、中国の実体経済は、思った以上に弱みである可能性があり、日本も株価の大暴落と円高シフトに見舞われ、今後の景気動向には注視が必要。なお当行の2015年度設備投資計画調査(8月公表)では、製造業を中心にかなり強い伸び(全産業ベースで13.9%増)が期待されているが、下期に向け企業マインドに負の影響を及ぼさないか危惧される所。</p>
<b>デフレ脱却・経済再生を確実にするための取組</b>			
2 - 1	<p>(別紙5)の1.(1)のとおり、経済財政諮問会議ではデフレからの脱却、経済の好循環の拡大に向けた取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入ください。</p>	-	<p>持続的な経済好循環のためには、企業が持てるリソースを成長の機会となる投資に振り向け、併せてさらなる賃金水準の引き上げに努めて、消費を促進するという流れが重要。いまだ守りの企業経営の感が強く、より果敢なアプローチが求められる。具体的な事業活動の着目点：海外からの投資やビジターの増加に向けて、受け入れのためのインフラ(ハード・ソフト両面)の充実。電力改革を契機としたエネルギー供給体制の早期確立は重要なポイント。評価が進む日本の新たな魅力や強みを、海外に伝え続ける努力。安全、安定、信頼、環境負荷、健康などをキーワードとした食、高機能素材・部材、社会システムなどにかかる産業の海外展開が、持続的な成長に貢献するものとする。</p>
2 - 2	<p>また、(別紙5)の1.(2)のとおり、経済財政諮問会議では我が国経済の潜在的な成長力の強化について取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入をお願いいたします。</p>	-	<p>経済の成長力強化を考える上での最大の課題は、種々の不安にどう向き合うか。特に将来の財政破綻という不安に対し、払拭の手立てが十分打たれないまま過ぎていること。消費税の引き上げも含めて手を緩めることはできない。またそうした財政状態の下で非常に困難ながら、老朽化あるいは社会規格にそぐわなくなった社会基盤の作り替えは必須。支出のメリハリと、実施主体、ファイナンスの工夫が強く求められる。競争力の基盤という意味でも一つ挙げたいのは、人材の質的向上とそれに向けた教育のあり方の改革。グローバル人材を育てる教育方法の導入や、海外からも目指されるような、特色を持った地域の大学の再構築、再編などが考えられる。</p>